



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場会社名 株式会社エフテック 上場取引所 東
 コード番号 7212 URL https://www.ftech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 祐一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員 管理本部長 (氏名) 青木 啓之 TEL 0480-85-5211
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	164,685	△6.2	2,894	△37.4	1,739	△60.1	△725	—
2019年3月期第3四半期	175,622	7.2	4,619	△13.2	4,362	△3.8	2,284	△34.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △1,435百万円(ー%) 2019年3月期第3四半期 1,906百万円(△65.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△38.85	—
2019年3月期第3四半期	122.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	135,545	54,121	29.5
2019年3月期	137,010	56,830	30.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 39,994百万円 2019年3月期 41,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	221,000	△6.1	5,000	△24.0	4,300	△28.0	1,100	△61.3	58.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	18,712,244株	2019年3月期	18,712,244株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	33,801株	2019年3月期	33,801株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	18,678,443株	2019年3月期3Q	18,678,453株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、全体としては回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦の長期化等により減速懸念が強まりました。日本経済は輸出や生産に弱さがみられるものの緩やかに回復しました。海外では、米国は堅調な個人消費等が下支えとなり着実な成長が続きました。中国は米中貿易摩擦などの影響により減速が続きました。その他のアジアでは総じて緩やかに減速しました。

自動車業界においては、国内では消費税率引き上げや自然災害の影響により販売台数は前年割れとなりました。北米では小型トラックが好調を維持する一方、乗用車販売は不振でした。アジアは販売台数の不振が続きました。

こうした環境において当社グループは、第13次中期計画の基本方針である「Back to Basics」「Challenge for New」に沿って、得意先に対して新たな価値を提供すべく活動し、その結果、北米・日本・アジアにおいて新規大型受注案件の獲得に繋がりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間につきましては、北米市場において新規受注製品の量産効果がありましたが、中国・アジア市場での減産、為替影響等を受け、売上高は164,685百万円(前年同期比6.2%減)となりました。損益は、減収の影響に加えて持分法適用関連会社のジョーナンアメリカ・インコーポレーテッドにおける減損損失計上の影響等があり、営業利益は2,894百万円(前年同期比37.4%減)、経常利益は1,739百万円(前年同期比60.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は725百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,284百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

主要得意先の減産に伴う受注数の減少により、売上高は19,740百万円(前年同期比19.4%減)、営業損失753百万円(前年同期は営業利益824百万円)となりました。

(北米)

メキシコやカナダにおける受注製品の生産数は増加しましたが、アメリカにおける主要得意先からの受注数の減少や為替の円高影響があり、売上高は101,091百万円(前年同期比0.7%減)となりました。損益は、受注製品の量産効果に加えて生産効率改善やコスト削減への取組み等により、営業利益は314百万円(前年同期は営業損失492百万円)となりました。

(アジア)

主要得意先からの受注数が弱含みに推移し、売上高43,853百万円(前年同期比11.2%減)、営業利益は3,120百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金、機械装置及び運搬具等の減少により、前連結会計年度末に比べ1,464百万円減少し、135,545百万円となりました。

負債は、短期借入金、長期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比べ1,244百万円増加し、81,424百万円となりました。

純資産は、利益剰余金等の減少により、前連結会計年度末に比べ2,709百万円減少し、54,121百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大が当社の操業に影響を及ぼしておりますが、現時点で影響額等を見通すことは困難なことから、2019年11月7日に公表いたしました通期業績予想を変更しておりません。今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,191	9,486
受取手形及び売掛金	33,667	28,219
商品及び製品	4,450	6,662
仕掛品	3,999	4,291
原材料及び貯蔵品	9,277	8,659
その他	2,866	2,815
流動資産合計	61,453	60,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,096	16,212
機械装置及び運搬具(純額)	36,115	32,543
建設仮勘定	3,520	7,549
その他(純額)	10,658	11,031
有形固定資産合計	66,392	67,337
無形固定資産		
	342	283
投資その他の資産		
投資有価証券	6,255	6,067
その他	2,579	1,742
貸倒引当金	△12	△20
投資その他の資産合計	8,822	7,789
固定資産合計	75,556	75,410
資産合計	137,010	135,545
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,838	18,589
短期借入金	12,649	17,108
1年内返済予定の長期借入金	12,660	10,864
未払法人税等	390	499
役員賞与引当金	64	91
その他	8,398	7,762
流動負債合計	57,002	54,915
固定負債		
長期借入金	19,728	21,772
役員退職慰労引当金	106	120
退職給付に係る負債	920	889
負ののれん	56	51
その他	2,365	3,673
固定負債合計	23,176	26,508
負債合計	80,179	81,424

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,790	6,790
資本剰余金	7,222	7,222
利益剰余金	28,133	26,858
自己株式	△18	△18
株主資本合計	42,127	40,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	467	485
為替換算調整勘定	△418	△1,128
退職給付に係る調整累計額	△331	△215
その他の包括利益累計額合計	△281	△858
非支配株主持分	14,985	14,127
純資産合計	56,830	54,121
負債純資産合計	137,010	135,545

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	175,622	164,685
売上原価	158,463	149,798
売上総利益	17,158	14,887
販売費及び一般管理費	12,538	11,993
営業利益	4,619	2,894
営業外収益		
受取利息	60	55
受取配当金	43	41
持分法による投資利益	280	—
為替差益	126	—
その他	186	131
営業外収益合計	698	229
営業外費用		
支払利息	908	824
持分法による投資損失	—	232
為替差損	—	249
その他	46	77
営業外費用合計	955	1,383
経常利益	4,362	1,739
特別利益		
固定資産売却益	13	8
その他	0	1
特別利益合計	13	9
特別損失		
固定資産売却損	5	3
固定資産除却損	41	33
特別損失合計	47	37
税金等調整前四半期純利益	4,329	1,711
法人税、住民税及び事業税	1,491	1,616
法人税等調整額	60	614
法人税等合計	1,552	2,231
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,777	△519
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,284	△725
非支配株主に帰属する四半期純利益	492	205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243	42
為替換算調整勘定	△620	△1,052
退職給付に係る調整額	99	112
持分法適用会社に対する持分相当額	△106	△17
その他の包括利益合計	△871	△916
四半期包括利益	1,906	△1,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,606	△1,302
非支配株主に係る四半期包括利益	300	△133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

第1四半期連結会計期間より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国基準を採用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しています。これにより、借手は原則としてすべてのリース取引を貸借対照表に資産及び負債として計上しています。貸手の会計処理に重要な変更はありません。

本会計基準の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金及び関連する固定資産科目と負債科目に加減しています。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が1,451百万円、流動負債の「その他」が241百万円、固定負債の「その他」が1,112百万円、それぞれ増加しています。なお、利益剰余金期首残高及び当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」の適用

米国会計基準を採用している在外子会社において、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用しております。これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識しております。

本会計基準の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従っております。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価が839百万円、それぞれ増加しております。なお、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	24,483	101,760	49,378	175,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,288	1,231	2,563	13,082
計	33,771	102,992	51,941	188,705
セグメント利益又は損失(△)	824	△492	3,981	4,313

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,313
セグメント間取引消去	306
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	4,619

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	19,740	101,091	43,853	164,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,411	1,152	2,055	11,620
計	28,152	102,244	45,909	176,306
セグメント利益又は損失(△)	△753	314	3,120	2,681

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,681
セグメント間取引消去	212
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,894

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。